

どうやって来日外国人を教育し、 定着化を図りますか？

採用時のレベルに応じた、柔軟な研修方法を考えましょう。

- ① オールインワン動画教材活用、現場負担大幅軽減職場研修型？
- ② 外部オンライン活用、現場負担ほとんどない見守りフォロー型？

実際、どんなレベルの外国人が入ってくるのだろうか？

日本語がN4相当以上となっていますが、日本語がしゃべれない人もたくさんいます。

日本語能力試験N4の試験は180点満点のうち90点以上で合格。

漢字は小学3年生程度だが、半分正解すればN4？

そもそも外国では日本語で話す機会がほとんどない。

しかも、ほとんどは、日本の介護業務未経験者

外国人採用を決めたのなら、教育・育成を覚悟

即戦力じゃなかったらどうしよう？

ほとんどの人は、即戦力にならないとあきらめてください。

一般的な基本介護業務独り立ちの目安

入職時のレベル

A) 経験3年以上（元EPA等）

B) 未経験+N3レベル

C) 未経験+N4レベル

独り立ちまでの期間は？

2か月程度

3か月～半年（夜勤は半年～1年）

半年～1年以上（大きな差あり）

現場身体介護なら、N3レベル以上は日本人の新人と同じ

でも、特定技能や技能実習生では最初からN3以上はあまり望めない。

N4レベルの外国人には、まず現場で使う日本語指導を。

彼らは何を期待しているのだろうか？

- A. 5年間だけしっかり稼ぎたい。
- B. できるだけ長く日本で働き、家族も呼んで一緒に暮らしたい。

彼らの本音をしっかりつかみましよう。

5年間だけでいいという人はあまり勉強熱心にはなれません。

長く働きたいという人は勉強も熱心になれます。

- A. 安全な日本、やさしい日本人に囲まれて楽しく仕事をしたい。
- B. 介護福祉士にも合格したいので勉強を教えてほしい。

まわりがやさしく勉強も面倒みてくれば、安心して5年間はやめないかも。

やめないで5年間いてくれるのかな？

特定技能のリスクは彼らの転職です。

仲間間の口コミ・情報共有は日本人以上。

給料の問題はしかたない？

職場の人間関係と将来への不安に、どう対応してあげるか大事。

愛情をもって育成してあげられるかにかかってきます。

まずは管理者が、彼らとコミュニケーションをとれるか？

管理者の、彼らへの見守りがあれば大丈夫です。

5年間だけ楽しく働いて帰国したい人への教育は？

利用者や同僚とうまくコミュニケーションがとれるようになれば。。

まずは、仕事は大変だけど楽しいと思ってもらえるように。

利用者とうまく話せるようになれば。

他の職員と話しやすくなれば。

分からないことが分かるようになれば、職場も楽しくなる。

介護の日本語を教えましょう。

介護の日本語の勉強をしながら、介護知識も覚えていきます。

介護の日本語を勉強しながら、N3レベル以上にもなれます。

介護福祉士を目指したい人にはどうする？

1年ごとの学習到達目標を設定しましょう。

4年目に介護福祉士試験合格

2年目から本格的試験対策学習

2年目終わりに55点、3年目終わりに75点、4年目本試験で90点

最低ラインは2年目50点、3年目65点、4年目本試験で80点

国家試験対策も見据えた、介護基本知識の学習から始めよう。

まずは、1年目の介護の日本語から。途中から特定技能試験知識の復習も。

2年目からは週8時間程度の試験勉強ができる環境を提供してあげましょう。

国家試験対策を職場で教えるのは大変だし、難しいでしょう？

もちろん、職員だけで教えるのは無理です。

日本人に試験勉強を教えるのとは違います。

日本人の2倍も3倍も時間がかかります。

試験に出てくる語彙・表現、日本の制度、どうやって教えればいいのか？

学習成果が実感できなければ、外国人はギブアップします。

仕事がきつい、帰ったら寝るだけ、お金もない、でも仲間と遊びたい。。

ギブアップしたら、処遇のよさそうな職場に転職してしまうかも。

一旦指導を始めたら、ギブアップさせてはいけません。覚悟が必要です。

外部の学校やオンラインコースに参加させると、転職リスクが高まるのでは？

同様な境遇にあるもの同士、外部との交流はメリットもデメリットもあり。

S N S の普及で、情報交換や転職リスクはある程度しかたない。

それでも心配なら、試験対策も実務者研修も施設内、自前でやるしかない。

施設内指導完結方式と外部教育システム活用方式を調査、研究してみましよう。

施設職員の負担の度合い、費用、管理の手間、教育の質の違い

E P A では4年間800万円くらいかかるらしいが、助成金もたくさん使えるらしい。

特定技能では、これ以上、人もお金もかける余裕がない？

現場負担・人件費を最低限に抑えながら、自前で試験対策講座をやる方法はないのか？

そのようなものがあれば、長期的には施設のノウハウ、財産にもなります。

あります。

でも、指導担当者には学習内容を熟知してもらう必要があります。

指導担当者は、各職員のレベルに合わせた学習進捗度管理と職員の質問、相談に応じる必要があります。

それは、オールインワン学習教材を購入すればできます。

現場の負担をほぼゼロにし、管理者が見守るだけで合格させる方法とは？

そのようなものがあれば、現場からの反発も減り、すぐに現場の協力も得られるようになります。

あります。

でも、管理者には覚悟してもらいます。

管理者が彼らと定期的に話せる場をつくること。

できるだけ、火曜と土曜の19時から1時間だけは、彼らが勉強できるように、ほんの少し現場にシフトへの忖度をさせてください。

介護教育の施設内指導完結方式 －将来的には自社外国人現場研修体制が確立－

初年度の介護研修は、コミュニケーションと特定技能試験勉強の復習を重点的に

基本学習動画と対面ZOOM収録型フォローアップ動画
全233本、215時間。

遅くとも、2年目からは介護福祉士国家試験対策

12か月プログラム基本学習動画と対面ZOOM収録型フォローアップ動画
全221本、312時間。

施設内で実務者研修、受講時期は3年目がベスト

受講生5名以上で施設内実務者研修講座開設可能。施設は週1日×8日の場所と福祉機材提供。自宅学習添削課題のオンラインサポート付き。

介護教育の外部教育システム活用方式 －管理者の見守りフォローさえあれば可能－

初年度の介護研修は、コミュニケーションと特定技能試験勉強の復習を重点的に

オンラインでのオンデマンド動画とZOOM授業。
初任者研修カリキュラムもオンライン学習可。（資格取得はなし）

遅くとも、2年目からは介護福祉士国家試験対策

介護の日本語コース→介護福祉士初級コースを経て、外国人向け国家試験対策オンラインコースWebTutorに参加。
WebTutorは基本学習動画とフォローアップZOOM授業の年間プログラム

外部実務者研修受講時期は3年目がベスト

日本医療企画テキスト使用スクールでの自宅学習添削課題はオンラインサポートあり。

驚くべき現場負担・コスト低減で介護福祉士実現を

オンラインコースのみで日本一の単体コース外国人合格者数を達成した介護福祉士試験対策ノウハウを思う存分に活用

第34回国家試験外国人合格者28名。第35回は30名超を期待中。

学習教材はいたるところに生徒との双方向性、レスポンススタイルを加味し、動画学習の弱点を補強

基本学習動画とZOOM形式フォローアップ授業動画の組み合わせ

5年間で考えれば、1～2万円/月。職員数で割れば一人1,000円～3,000円/月程度？

施設内自前完結型：法人単位オールインワンビデオ教材36万円（税込）

外部教育活用型：事業所単位フリーオンライン学習サービス2万円/月（税別）

法人概要

- 法人名 : **一般社団法人外国人介護職員支援センター**
(Foreign Caregivers Support Center Inst.)
- 設立 : 2018年1月11日 (創業2016年5月)
- 事務所 : 千葉県市川市八幡5-15-14
TEL 047-713-6214 FAX 043-332-9640
- 代表理事 : 井上文二
- 教育部門屋号 : マリーアンドパートナーズ(Marie & Partners)
HP : <http://caregiverjapan.org>
フェイスブック : <https://www.facebook.com/marie.and.partners/>
- 活動内容 : 外国人介護職向け介護関連教育
日本人含む全介護職対象介護福祉士試験対策支援
外国人総合相談・助言活動 (国内外問わず)
- INAとの関係 : INA (一般社団法人国際介護人財組合) と協働し
外国人及び受入介護事業者に教育支援を提供。
井上が代表理事を兼ねる。
- GKOとの関係 : GKOは完全無料の外国人支援サービスを提供する団体。センターはGKOの
無料提供するコンテンツに無償協力。
井上が理事長を兼ねる。